

質問1：自己紹介をお願いします。

山口県にあるマツダの防府工場で働いています、中川宜明（なかがわのりあき）です。所属は第4車両製造部第2組立課というところです。本日はどうぞよろしくをお願いします。

質問2：現在担当されているお仕事の内容について、教えてください。

マツダは動くことへの感動や心のときめきをお客様にお届けすることを目指しています。その中で私の仕事内容は、生産ラインで流れて来る車に対して様々な部品を取り付けて車を完成させていくことです。わたしたちは車を単なる移動の道具ではなく、お客様が車を見た瞬間、触れた瞬間に嬉しい気持ちになれたり、わくわくするなど、車と一緒に楽しく過ごしてほしいと願いながら車を作っています。愛着を持って漢字で車、ではなく、カタカナでクルマ、と呼んでいます。

私が働く防府工場はおよそ4500人が働いています。その中にある私の職場では、運転中に安全な視界を確保するためのガラスの貼り付け、車が走るためには絶対に必要となるタイヤの取り付け、快適に座って楽しく運転して頂くためのシートの取り付け、お客様が車に乗る瞬間、下りる瞬間にもわくわくときめいて頂けるようにドアの取り付けなどを、心を込めて行っています。

質問3：お仕事の中で難しいと感じることや、気をつけていることについて教えてください。

はい。一つめはお客様の安全、二つめは地球環境に気遣った車づくり、三つめは働く仲間を大切にすることです。

一つめのお客様の安全ですが、車づくりにおいて安全性はお客様の命を守るために最も大事なことの一つです。学校に決められた校則やルールがあるように、車づくりにもお客様に安全に乗って頂けるよう、決められた法律やそれを守るためのルールがたくさんあります。一つでも守らないことがあると、お客様の交通事故につながったり、その時にけがをさせてしまうことになります。一緒に働く仲間全員が正しくルールを守って車を作っているように取り組んでいます。二つめは地球環境に気遣った車づくりです。車づくりは地球温暖化の原因となるCO₂などの温室効果ガスの排出や、たくさんのごみがでてしまうなど、地球環境に大きな影響を与えてしまいます。わたしたちは環境負荷を減らすために、工場でも再生可能エネルギーの使用や省エネなど、温室効果ガスの排出を減らす取り組みをしています。また資源を有効に活用するために、使用済みの車や部品を新しく再利用できるような工夫をしています。最後に、三つめの、働く仲間を大切にすることです。

私の職場には30人の仲間がいます。ときには失敗をして落ち込んでしまうことは誰にでもあります。そのなかで、ありがとう、ごめんなさい、といった感謝の気持ちをお互いに言葉にして伝えることで職場のみんなが気持ちよく働くことができ、一人一人が全力を出すことができると考えています。失敗はみんなで一緒に悩み、考えて乗り越える。そして成功は涙を流して一緒に喜ぶ。そんな熱い気持ちで仲間と向き合うよう心がけています。

質問4：お仕事の中で、やりがいや楽しさを感じる時は、どんなときですか。

はい。車づくりの楽しさは自分のアイデアや理想に実際の形を近づけていく過程にあると思います。いつまでにこれをやって、と計画を立てて、失敗と成功の試行錯誤の中で完成させていく達成感や、実際に自分の五感をフルに使って問題を解決していく楽しさが魅力です。また、車づくりを通して自分のスキルが向上し、新しい技術や知識を学ぶことができる点も大きな楽しさの一部です。さらに車が完成したときの喜びを仲間と共有したり、次はもっといいものを作りたい、と考えていると、活力がみなぎり、日々の生活が輝きに満ち溢れてきます。

質問5：最後に、自動車づくりについて学んでいる、子どもたちへのメッセージ

をお願いします。

車作りだけでなく、ものを作る、ということはほんとうにすばらしいことだと思います。皆さんもぜひ興味を持って楽しいモノ作りを始めてみましょう。